

阿武隈山地風力発電構想について

石城山岳会 秋葉

私どもは、福島県の山の魅力を発信し、多くの登山者に福島県の山に登っていただきたいと活動してまいりましたが、今回の阿武隈山地風力発電構想を知って唖然としました。

風力発電はエコというイメージがありますが、調べてみると様々な問題点があることが分かりました。このまま進められれば取り返しのつかないことになってしまいます。

今後、いわき市の山岳団体の代表者に集まってもらい、市に対し要望書を提出したいと考えています。

福島県山岳連盟としても、登山愛好者にこの問題を広める、あるいは意見を求められた場合の考えかた、県に対し要望を出す等のことが必要ではないでしょうか

* 阿武隈山地風力発電構想、風力発電の問題点・事例などはインターネットで検索すると見ることができます。

* 風力発電には 2009 年 5 月に福島県自然保護協会が要請書を提出しています。

猫鳴山の開発状況について 佐藤一夫さんよりメール 2016 年 4 月 5 日

この件についての発端

福島県登山ガイド協会で、3月から二ツ箭山登山学校の講習会を開催中です。その中の一つ、登山地図読図講習会（屹兎屋山を会場にした実地講習）が 4/12 と 4/29 に開催予定のため、3/28 屹兎屋山～猫鳴山の現地調査をしました。その時に、猫鳴山周辺に大規模な工事用道路が施工され、気象観測用の鉄塔が建設されていることが確認されました。工事用道路上は部分的に倒木が放置され、通行が困難な場所も発生しています。

経 過

1、3/28 工事看板に表示されている、福島県いわき農林事務所に連絡。

2、3/29 福島県企業調整部エネルギー課の担当者から連絡があり、事情を説明した。

現在風力発電事業のため事前調査を実施中の説明を受けた。

事業者が東京のエコパワー(株)であるので、担当者から私に連絡をさせる。

3/30 エコパワー担当者から連絡があり、現地に同行調査依頼があった。

緊急を要するため、日程を 4/4 に設定。

石城山岳会事務局関内さんに連絡し、山岳会から同行を打診したが、事務局・会長とも都合がつかないようなので、4/4 は私一人で同行調査をすることにエコパワーに連絡。

3、4/4 エコパワー(株)事業開発 1 部開発グループ、主任、杉氏と現地施工担当の(株)藤建技術設計センターの担当者 2 名と私で現地調査を実施。

現地で倒木が部分的に通行を阻害していることを確認した。

4、現地調査の結果、とりあえず通行を阻害している倒木をかたずけることを要望した。

エコパワー(株)の担当者から、そのように実施したい旨返答があり、後日報告したいとのことです。



今後について

エコパワー(株)の担当の説明から、現在は風の気象調査をしている。期間は1年位の予定。そののちに、福島県が事業者の公募をし、事業者が決定し風力発電の設置工事が入る。

現在は気象観測データ収集の段階ですが、その可能性は大きいようです。事業が始まれば、猫鳴山から屹兎屋山までの稜線が大規模な開発にさらされ、登山道の改廃、樹林帯の大規模伐採等が発生すると考えられます。

※とりあえずは、登山道の通行になっている倒木の処理については要望しましたが、今後いわき市地元の登山関係者として、どのように対処すればよいのか早めに対応したほうが良いと思われまます。

とりあえず、施工者との窓口は福島県登山ガイド事務局として私が担当しております。

石城山岳会の対応

石城山岳会としては狩野光昭いわき市議会議員と協議し、6月議会で取り上げてもらうことにし、会員に議会傍聴を呼びかけました。

石城山岳会会員各位 佐藤一夫さんからのメール 6月12日

この景色(小川町草心平記念館からの写真です)が大きく変わるかもしれません。

福島県では再生可能エネルギーの推進するため、阿武隈地域で大規模な風力発電施設の計画をし、6月中旬に公募による仮事業者を選定するようです。

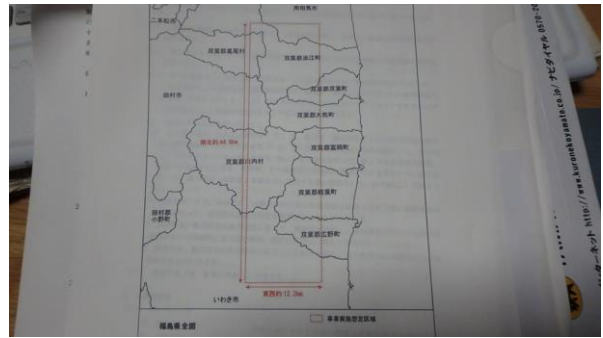
6月中旬にプレゼンテーション実施し、7月上旬に仮事業者が決定するようです。

※担当の福島県企画調整部エネルギー課6月の仮事業者公募のプレゼンテーションの日程と公開要望を連絡しましたが、日程は未定、公開はできない旨の回答がありました。



事業規模は、発電出力最大70万KW⇒3,500KWの風力発電機が200基。これが地図上のいわき市の二ツ箭山北部猫鳴山付近から南相馬市南部の丘陵地までへ建設さ

れようとしています。風力発電タワーは高さ178mの高さです。これが200基です。景観が大幅に変わるでしょう。我々登山愛好者が利用している、ニツ箭山～猫鳴山～屹兎屋山の縦走登山路はどのようになるのでしょうか。



動植物の環境に大きな影響を与えるのではないのでしょうか。いわき市民（もちろん福島県民）としてこの件に無関心にはならないでほしいと思います。福島県阿武隈風力発電構想で検索しますと、現時点での状況を知ることができます。15日の狩野さんのいわき市6月市議会の質問にも福島県登山ガイド協会から数点の要望を加えてもらえるよう依頼してあります。ぜひ傍聴していただきたいと思います。私佐藤一夫は当日傍聴いたします。

狩野光昭議員（社民党）の質問 いわき市議会 6月15日

大きい質問の4つ目は（仮称）福島阿武隈風力発電構想についてです

②（1）質問の1点目は（仮称）福島阿武隈風力発電構想の概要についてです

福島県の（仮称）福島阿武隈風力発電構想のホームページを見ると、北は南相馬市から南はいわき市までの11市町村の阿武隈高地東側の丘陵地域に出力最大70万キロワットの風力発電設置の構想となっています。

計画段階環境配慮書の縦覧が2月2日～3月2日の期間で実施されましたが、福島県に問い合わせたところ市内の縦覧者は3人とのことでした。

いわき市にも大きな影響を及ぼされると考えられますが、この構想の概要について伺います。

答弁 生活環境部長 環境企画課担当

（仮称）福島県、阿武隈風力発電構想は、福島県、株式会社ジャパンウィンドエンジニアリング、株式会社ユーラスエネルギーホールディングス、エコ・パワー株式会社の4者を構成員とする福島県阿武隈風力発電アセスメントコンソーシアムを事業主体として、福島県再生エネルギー推進ビジョンの主要施策のひとつである風力発電の新設により、エネルギー自給率の向上と温室効果ガスの抑制に寄与するクリーンエネルギーの供給を図り、さらに風力発電の機の設置等に係る関連業務を地元企業への可能な限り発注することにより、雇用の創出や地元産業の振興を図るとともに売電収益の一部を利用して復興支援や地元振興に貢献しようとするものです。

なお、風力発電機の概要につきましては出力3,500kw、ローター径約137m、高さ178.5mの使用のものを事業実施区域内に200基設置する予定となっております。

この後のスケジュールにつきましては、福島県によれば、今年度中に公募により風力発電事業者を決定し、環境影響評価法の手続きを経て、早ければ平成32年に風力発電所の建設工事に着手する予定とのこととあります。

②⑤ (2) 質問の2点目は(仮称)福島阿武隈風力発電構想についてのいわき市の所見についてです

この構想が実施されると、高さ178メートルの風力発電タワーが200基設置されます。二ツ箭山北部猫鳴山付近から南相馬市南部の丘陵地までへ建設されようとしています。

4月において、地元の登山愛好者から、猫鳴山付近の稜線が風力発電所建設準備で登山道が荒らされているとの連絡がありました。

いわき市内の登山愛好者や山岳会の皆さんは、二ツ箭山～猫鳴山～屹兔屋山の縦走登山路の景観が大幅に変わり、どのようになるのか心配をされています。開発地はオオタカの生息地にもなっており、動植物の環境に大きな影響を与えることが心配されます。さらに、近隣地には福祉施設や学校が存在し、低周波の問題など様々な影響が予想されますが、これらの問題に対しての、いわき市の所見を伺います。

答弁 生活環境部長 環境企画課担当

(仮称)福島阿武隈風力発電構想については、福島県の計画段階環境配慮書に係る意見の作成に際し、本市の計画段階環境配慮書に関する意見を本年3月29日に回答しております。

その内容といたしましては、計画されている事業が大規模な風力発電事業であること、風力発電機を視認する可能性が高い眺望点が存在し、さらに、事業実施想定区域及びその周辺には、住居、学校、福祉施設等が存在していることに鑑み、景観並びに騒音、振動及び超低周波に係る影響を回避、低減するように、風力発電機の配置及び規模等を検討することを求める他、水環境、動植物・生態系、人と自然との触れ合いの活動の場などの環境全般に渡り、主に、環境影響を回避、低減するための環境保全措置を講じるように求めるものとなっております。

〈要望〉 遠野地区では株式会社ユーラスエナジーホールディングスにより、(仮称)三大明神風力発電事業として、三大明神山周辺を大規模に開発し、最大18機の風力発電機が建設される予定であります。開発地域には、いいわき七峰縦走コースをはじめ複数のハイキングコース等が存在します。

田人地区も同じ事業者により、(仮称)田人風力発電事業として、阿武隈南部朝日山周辺を大規模に開発し、最大12機の風力発電機の建設が予定され、実施区域内に住居6戸があります。

両事業とも福島県知事の意見では、「周辺住民の理解が不可欠となることから、十分な説明を行うこと」と、述べられております。

阿武隈風力発電構想も事業の計画を進める段階で、県認定の仮事業者に対して、地元住民や山岳会などに意見を求めることなど、関係機関に要望することを訴え、質問を終わります。

風力発電の問題点 ver.1

佐藤 勤

(1)自然破壊と生態系への悪影響懸念。建設時にも周囲の山林を広範囲に伐採して、作業用林道を建設するため、周辺生態系への悪影響が懸念される。



(2)景観破壊の問題。美しい緑の山々が切り開かれて、高さ 100m 以上の巨大で白い無機質な風車が林立する無残な光景になってしまう。



(3) 超低周波騒音

直接耳に聞こえない周波数 20Hz 以下の超低周波騒音が発生するため、付近の住民に健康被害が発生している。

(4) 飛んでいる鳥獣類が回転している風車の羽根にぶつかって、双方が傷つくバードストライク問題。

(5) 風車の羽や発電機が強風や落雷等で飛散、落下して周囲に危険を及ぼす。

つまり、近くの山道を歩いている登山者が、最悪大けがを負う事故も予想される。

(6) 発電および維持管理コストの問題。建設費、維持管理費等含めた発電コストが電気料金として回収できないと、原発と同じく、国民に巨額の税負担が負わされる。(またもや赤字国債で賄うのか?)

このうち山岳会としては、特に(1)(2)の問題に絞ってウォッチし、必要なら市民に警鐘を鳴らす、市議員に動いてもらう等のアクションまで視野に入れるべきかと思います。

(追記)

今回の建設計画を知って唖然としました。高さ 170m の巨大風車が 200 機も阿武隈山地に林立させようとは、巨大な自然破壊に他なりません。

「原発を止めるなら再生可能エネルギーを」という理屈はわかりますが、とって大規模自然破壊では、なんのための再生可能エネルギー利用か、本末転倒です。

石城山岳会としても、自然保護の観点から、市内各団体と連携して要望書の提出(問題点の指摘)をすることは大賛成です。本年当会総会の議題にしても良いかと思っていたところです。

【参考 web 資料】

巨大風車が日本を傷つけている

<http://no-windfarm.net/>

環境に優しいと思われている風力発電、その問題点とは?

<http://nanzumn.web.fc2.com/fusha/fusha.html>

風力発電による環境破壊の現場を見学

～東伊豆の熱川天目山と三筋山～

<http://www005.upp.so-net.ne.jp/boso/husya01.htm>

風力発電のデメリット

<http://hatsudenjuku.com/windpower/windpower03.html>

風力発電の 3 つの課題－環境影響、安全性、コスト

<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1308/13/news014.html>

風力発電所の環境影響評価のポイントと参考事例

https://www.env.go.jp/policy/assess/4-1report/file/h24_04-01.pdf

風力発電が野鳥に与える影響のまとめ

https://www.wbsj.org/nature/hogo/others/fuuryoku/shiryo100927_08.pdf